

ほんのもり



No. 3 2025. 6

富岡中学校 図書館
学校司書 村木加津

～富岡中学校図書館だより

『芒種（ぼうしゅ）』という言葉を知っていますか？

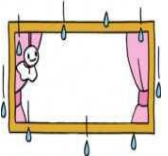
二十四節気のひとつで、「芒」は「のぎ」とも読み、イネ科植物の穂先にあるとがった部分のことです。芒種は6月5日から20日頃のことをさし、梅雨をむかえる直前に、穀物の種をまいたり田植えをしたりする時期とされました。（『絵本ごよみ二十四節気と七十二候』教育画劇より）

そろそろ雨のシーズンです。雨が続くと「外に出るのが面倒だなあ・・・」と、つい思いってしまうそんな時こそ、本の世界にゆっくり浸ってみてはいかがでしょうか？

また、1年生は図書の時間がないためなのか、なかなか自分で時間を作って図書館へ足を運んでくれる人が少なく寂しいです。ぜひ遠慮せずにどんどん本を借りに来てくださいね！！

『梅雨読（つゆどく）』しませんか？

「雨が降ってすることがないよ～！」というあなた。
そんな時こそ読書がオススメです。一人の時間を大いに
楽しんでみてはいかがでしょうか？



雨の日に読みたい本特集！

『雨上がり、

君が映す空はきっと美しい』

汐見夏衛/著 913シ

友達がいて成績もそこそこな美雨は、昔から外見を母親や周囲にけなされ、目立たないように“普通”を演じていた。ある日、映研の部長・映人先輩にひとめぼれした美雨。見ているだけの恋のはずが、先輩から部活に誘われて世界が一変する。外見は抜群にいいけど、自分の信念を貫き通す一風変わった先輩とかかわるうちに、“新しい世界”があることに気づいていく。「君の雨がやむのを、ずっと待ってる一。」勇気がもらえる感動の物語。

著者は「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」の人気作家さんです。

『雨夜（あまよ）の星たち』

寺地はるな/著 913テ

「できないことは、できません。やりたくないことも、やりません。」

三葉雨音は他人に感情移入できない26歳。同僚の星崎くんの退職を機に、仕事を辞める。他人に興味を持たない長所を見込まれた三葉は、「お見舞い代行業」にスカウトされ、移動手段のないお年寄りの病院送迎や雑用をする仕事をはじめ。聞き上手な八十代セツ子、手術の付き添いを希望する四十代の好美など依頼人は様々。空気を讀まない三葉だが、行動に変化がみられていく・・・。

★本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋★

富中図書館へ来てチャートでおすすめ本をみつけよう！！



図書館に入ってすぐのところにある『富中生ならこれを読め！』のコーナーをリニューアルをしました。【今日のあなたにピッタリな本と必ず出会える！】YES・NO チャートを加えました。ぜひ、図書館に来て試してみてください。あなたにピッタリな本と出会えるチャンスです！！

友だちって

(★本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋★)

『きみの友だち』 913 シ 重松清/著

友だち？ 他人だよ、そんなの。でも特別な他人、大切な他人。嬉しいこと、つらいことがいっぱいあったから「友だち」の意味がわかった。痛みや喪失を乗り越え、少女たち少年たちはやがて…。

『この夏の星を見る』 913 ツ 辻村深月/著

コロナ禍で登校や部活が制限される中、しかし出会いもあった。オンライン会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の中高生たち。「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らがねらうのは…。

恋がしたい！

『今夜、世界からこの恋が消えても』 一条岬/著

お互い本気で好きにならないことを条件に始まった僕と日野真織の偽りの恋。やがてそれが偽りと言えなくなったところで、僕は彼女が前向き健忘だと知る。日ごとに記憶を失う彼女と、1日限りの恋を積み重ねていくが…。

『君の臍臓が食べたい』 住野よる/著

ある日、高校生の僕は病院で一冊の文庫本を拾う。タイトルは「共病文庫」。それはクラスメイトである山内桜良が密かに綴っていた日記帳だった。そこには、彼女の余命がもういくばくもないと書かれていた。

感動したい！

『ツナグ』 913 ツ 辻村深月/著

一生に1度だけ、死者との再会を叶えてくれるという。ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。死者との再会を望むなんて生者の傲慢かもしれない。でも…。

『水を縫う』 913 テ 寺地はるな/著

周囲から浮いている手芸好きの清澄は、1歳の頃に父と母が離婚し、祖母と母と結婚を控えた姉の水青との4人暮らし。そんな姉のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言する。

癒やされたい！

『あしたのことば』 913 モ 森絵都/著

森絵都さんが「ことば」をテーマにつづった8篇の短編小説です。1話1話違った印象を楽しめるところが大きな魅力。それぞれの場所でさまざまな想いを抱えて過ごしているたくさんの人と出会えます。

『大家さんと僕』 726 矢部太郎

1階には大家のおばあさん、2階にはトホホな芸人の僕。挨拶は「ごきげんよう」、好きなタイプはマッカーサー元帥（渋い！）牛丼もハンバーガーも食べたことがなく、僕を俳優と勘違いしている。一緒に旅行するほど仲良くなった大家さんとの二人暮らしがずっと続けばいい、と思っていたが…。

自己啓発したい！

『10代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』 146 水島広子/著

10代が抱えるさまざまな悩みやストレスから心を守って、自分らしく生きるための『心の原則』を教えてくれる。

『嫌いな教科を好きになる方法、教えてください！』 375 中原淳/著

国語・数学・社会・理科・英語・実技—苦手科目を楽しく学ぶコツを集めました。各科目の魅力や向き合い方を学者、研究者、教師、アーティスト、YouTuber など24人が語ります。